

# 平成21年度「全国学力・学習状況調査」結果(概要)

## 鹿児島市立星峯西小学校

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的(「平成21年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」から)

- ① 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること。
- ② 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること。
- ③ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てること。

#### (2) 調査の実施学年・実施学級数・児童数

学 年	学 級 数	実 施 児 童 数
6年生	2学級	70人

#### (3) 調査の内容等(児童に対する調査)

- ① 実施教科等 国語, 算数, 質問紙調査
- ② 教科に関する調査→ 前学年までに含まれる指導内容の中から出題
  - 「知識」に関する問題  
身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容等に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題
  - 「活用」に関する問題  
知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題
- ③ 質問紙調査→ 学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等に関する内容

#### (4) 調査実施日 平成21年4月21日(火)

## 2 調査結果の概要

### ① 【国 語】

#### ア 「知識」に関する問題

- ・ 全国・県平均は、やや上回っているが、市正答率はやや下回っている。
- ・ ローマ字で正しく書いたり読んだりすることができていない。
- ・ 前年度までに学習した漢字の書き取りがしっかりと定着していない。

#### イ 「活用」に関する問題

- ・ 全国・県平均を上回り、市正答率もやや上回っている。
- ・ 目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明する力が、十分に身に付いているとは言えない。

#### ◎ 今後の取組

- ① 総合的な学習の時間等において、パソコンでローマ字入力を繰り返し練習させ、定着を図る。
- ② 授業中の小テストや家庭学習等で、復習を随時行い定着を図る。
- ③ 分かったことや自分の考えを論理的に説明する場を授業で設定する。

### ② 【算 数】

#### ア 「知識」に関する問題

- ・ 全国・県平均を上回り、市正答率もやや上回っている。
- ・ 簡単な計算でのケアレスミスが目立った。
- ・ 分度器の正しい使い方を理解していない。

#### イ 「活用」に関する問題

- ・ 県平均を上回り、全国・市正答率とほぼ同じである。
- ・ 情報を整理選択し、筋道を立てながら自分の考えを述べることがやや苦手である。

#### ◎ 今後の取組

- ① 見直しをする習慣を身に付けさせる。
- ② 量感を育てるとともに、分度器の使用に慣れ、正しく使えるようになっているか復習・確認の場を設定する。
- ③ 自分の考えを他者に説明するとき、根拠となる事柄を確認する活動や、児童どうしで確認し合う活動を取り入れる。